

2011年度 な～に谷っ戸ん田 第23回目 稲刈り

日 時 平成23年9月24日(土) 9:30～16:30頃

場 所 やっ戸ん田の田んぼ

天 気 晴れ(稲刈り日和)

参加者 石田+ヒデ君、柴田、霧生、高田直子、高橋、加藤、久保、松下(AM)、磯、坂本
(PM)、松本夫婦、百崎母子、園主(AM)、チャリママ佐々木母子、福德さん
計19名(内子供3名)

作業内容

午前中：コシヒカリの稲刈り

鳥除け糸と支柱を回収する。ポニーを準備する。バインダーの回転スペースを確保するために手刈りで隅を刈る。(幅2m～3m)バインダーは2台働く。刈り方を書いて説明するのは難しい。田んぼがぬかっている心配したが、バインダーで刈れた！高速の方が安定するのだとか。最短距離を意識して稲を移動する。落穂を拾うが田んぼの土で完全に真っ黒で驚くことしばし。もち米の満月は数名で手刈り。(同時進行)もち米は「良さそう」とのこと「おこわにして食べたいわ」という意見がでていた。

感想：何となく緊張感の漂う作業時間だった...

昼休み

各自食事を取る。百崎さんからお土産あり。子ども達が拾ってきた栗をゆでる。

午後：コシヒカリの稲を干す・後片付け

ポニーを組み立てて稲を干す。3時の休憩に茹で栗を皆で頂く。栗は水から茹でて、約30でゆであがる。マドンナの爆弾発言で場が賑やかになった。その後、ポニーがなくなったので、支柱や木や竹で作成し残りの稲を干す。バインダーの掃除(同時進行)仕上げに支柱を立て鳥除けの糸を張る。(もち米も同様)鎌とネコを洗い、支柱を戻し、最後に田んぼ靴も洗い、作業終了とした。生の栗を分配して頂いた。

感想：稲を干す時にやっとほっとしたのか、いつもの調子がでてきたように感じた。最短距離もポニーの立て方も昨年より、スムーズに出来たと思う。

今回は10月1日(土)和久さんの稲刈りの手伝い・堀の内 畑の収穫